

## 活動計画書

法人名	特定非営利活動法人 百年の森づくりの会				
活動名	水を育む山への恩返し 荒川源流域での森づくりと広報活動				
活動期間	令和6年6月15日 ~ 令和7年2月15日				
申請活動区分・分野	活動区分名	○ SDGs推進活動助成		自立促進活動助成	
	分野名	○ 人間	豊かさ	○ 地球	平和 パートナーシップ

## 1. 申請する活動の目的

<200字程度> 申請する活動により解決を図る地域課題、社会課題

水は命の源、その水を育むのは山、森林である。森林保全は生態系の保護、治山治水、河川用水の確保にもつながり、木材という再生可能な資源も生み出しさらに、森林の豊かさの復活は山村の活性化に影響し、ひいては地方の再生にもつながる。

秩父地域の自然災害の防止や活性化、中下流域・海域での豊かな生態系の保全のためにも、甲武信岳を源頭とする173kmの河川である、埼玉の母なる川「荒川」の源流域の水源林を守ることが重要である。

<200字程度> 上記の課題に対し、申請する活動が必要となる理由

当会は設立から24年、「水を育む山への恩返し」をコンセプトに「荒川」源流域の水源林保全のために秩父地域で落葉広葉樹を植え育ててきた。しかしボランティアだけで森づくりが出来る訳でなく、山村の活性化や賑わいを取り戻すことこそが水源の森を守ることにつながると考え、植林や講演会、山村体験等を通じて水源の森の大切さと素晴らしさを知ってもらい、山村のファンを増やし、水源の森を中下流域を含めた皆で守ろうという機運の醸成をはかる事が大切である。

又、森づくりは長いスパンを要するもので会の名称の通り、盛衰はあっても植えた樹々とその環境を見守ることも含め活動を継続することが肝要である。

## 2. 申請する活動の内容

<200字程度> 申請する活動の概要

- ・源流付近の和名倉山は荒川最大の水源林を有す、和名倉山仁田小屋尾根1,600m付近の秩父市有林での植林地の保全・観察、生態系観察と付随する作業道の整備。
  - ・長瀬町では宝登山を花の山とする構想を掲げ、地域振興を図っている。当会では花木を含む落葉広葉樹を植栽し、下草刈り等の保全活動を本年も継続。
  - ・啓蒙・広報活動。植林地保全では一般参加者も募る、講演会で水源林の素晴らしさ、山村の暮らしや自然、歴史などを伝えることで山村ファンを増やす。
- 高校生等対象の山村宿泊体験で森と樹その地域の息吹を感じて貰う。以上を広報誌・ホームページで周知を図る。

<b>&lt;200字程度&gt;</b> 申請する活動の目的を達成するための実施体制、他団体等との連携				
総括責任者:高岡 正彦 理事長/和名倉山担当:高岡 正彦/長瀬宝登山担当:小林 公彦 常務理事				
/講演会担当:守谷 裕之 副理事長/広報担当:小林 公彦/会計担当:東 克明 副理事長				
連携する他団体				
埼玉県高等学校体育連盟・登山専門部:植林地保全活動や宿泊体験会への高校生の参加について				
三井住友海上火災保険(株)埼玉支店:長瀬宝登山植林地保全活動への参加について				
<b>&lt;200字程度&gt;</b> 申請する活動の目的を達成するための助成金の活用方法				
当会の経常収入は年会費(個人2,000円、団体10,000円)であり、各種イベントの参加費や広報誌の配布は参加者等の負担軽減のため無料を原則としている、関係者の負担や会費の先食いで対応してきたが、名称の通り継続した活動のためには補完する収入が必要で、イベントに用いる機器・材料や広報費用に当てることで活動の継続性を高めたい。				
植林及びその保全作業は電動器具を使うことも多く安全に配慮することが必要である、今までは個人が気をつけることで対応してきたが、事故防止の観点から安全器具も充実していきたい。				
<b>3. 申請する活動の計画</b>				
<b>&lt;200字程度&gt;</b> 申請する活動の目的を達成するための事業計画				
和名倉山ワーク「百年の森を造ろう」;和名倉山仁田小屋屋根に植えた約1,000本のブナ、ミズナラ等の経過観察と獣害防止と付随作業、作業小屋に宿泊。				
長瀬宝登山下草刈り;宝登山東面に植えたヤマザクラ、カエデ、ツツジ等約1,600本周囲の下草刈りと状況調査。				
第1回旧三峰分校事業「旧三峰分校から森を作ろう」;高校生等対象の山村宿泊体験会、植栽整備や自然観察、薪割り体験等を通じて山村と森林への興味を抱いて貰う。				
第28回公開講座;水源林の大切さと素晴らしさ、秩父の森と人々の暮らし、歴史に関して「秩父を知ろう」をテーマの講演会。				
広報活動;活動成果や識者の知見を広報誌「和名倉百年の森」で発行。ホームページによる広報。				
具体的な計画				
活動の名称	実施時期	実施場所	活動の種類	活動の内容
2024年度第3回宝登山下草刈りと常務理事会	6月16日	長瀬 宝登山 植林地	イベント	下草刈りと状況調査、作業後振り返り・以降事業の打合せ
2024年度第4回宝登山下草刈りと常務理事会	7月21日	長瀬 宝登山 植林地	イベント	下草刈りと状況調査、作業後振り返り・以降事業の打合せ
旧三峰分校事業 準備	8月5日	旧大滝小学校三峰分校	事前準備	材料、機器、スケジュール、安全策等の準備・最終確認
旧三峰分校事業	8月6日~8月7日	旧大滝小学校三峰分校	イベント	山村宿泊体験、周辺植栽整備や自然観察、薪割り体験等
2024年度第5回宝登山下草刈りと常務理事会	9月8日	長瀬 宝登山 植林地	イベント	下草刈りと状況調査、作業後振り返り・以降事業の打合せ
広報誌48号(10/1付け発行)発送と常務理事会	9月28日	さいたま市市民サポートセンター	広報	広報誌・事業案内チラシ発送、以降事業の打合せ
第53回和名倉山植林ワーク	10月26日~27日	和名倉山 植林地	イベント	植栽観察、鹿よけネット取付、生態系観察及び作業道整備
第28回公開講座	11月10日	埼玉会館(予定)	イベント	「秩父を知ろう」をテーマに講演会、題目・講演者は未定
常務理事会	12月16日	さいたま市市民サポートセンター	打合せ	年間活動の振り返り・次年度以降の打合せ
広報誌49号(2025/4/1発行)執筆依頼	1月上旬中旬頃	メール、電話、対面	その他	非会員を含めた執筆依頼者選定と連絡

## 4. 申請する活動の効果

### <200字程度> 申請する活動の効果

森づくりは永い月日を要し、単年度で画期的な成果が顕れるものではない。しかし、本年度の計画を着実に実行することで豊かな水源林に1歩ずつ近づくと考える。特に中下流域の人々に秩父の水源林、それを守る人と暮らしその歴史を伝えることは、少しずつではあるが山村ファンを増やし、その人々が秩父を訪れ、人と自然に触れる機会が長い目で見ると、命の水を守ることにつながるであろう。

### <200字程度> 申請する活動の効果を得るために、申請者の特徴や強みをどのように生かすか

設立から24年植林と広報の二本柱で活動し、約7,000本を植栽した。獣害にあった苗もあり、植えるだけでなく育てることの大事さも体感してきた、育てる体験を共有することで森づくりのスパンを知ってもらえる。  
「秩父事件と秩父山麓の民と暮らし」「本多静六と明治神宮の森づくり」「さいたま市における森林環境譲与税の取組みと今後の活用について」「秩父往還道志るべ」等、中下流域から山村ファンを増やそうと公開講座を開いてきた。今までのネットワークも活用してさらに深化した広報活動が可能になる。

### <各項目100字程度> SDGsの17の目標に対する活動の効果(最大3個まで記入可)

1	目標名	6 安全な水とトイレを世界中に	←17の選択肢から選択する
	効果	水源林の保全是森林土壌を守ることにつながり「緑のダム」効果で安定的な河川用水の確保につながると同時に、河川水質の向上にも効果がある。	
2	目標名	14 海の豊かさを守ろう	←17の選択肢から選択する
	効果	多くの漁師達が山に樹を植えている、当会でも講演して頂いた気仙沼カキ漁師畠山重篤氏は「森は海の恋人」と謳っている。水源林を守り育てることは海の豊かさにつながる。	
3	目標名	15 陸の豊かさを守ろう	←17の選択肢から選択する
	効果	荒川源流域の水源林を守ることは、秩父地域の自然災害防止、森林生態系保持のみならず、中下流域での洪水抑制・河川生態系の維持にもつながる。	

## 5. 活動の継続・発展について

### <200字程度> 活動を継続的に行うための課題、活動の継続性を高める方法、活動を発展させるための取組はどのようなものか

会員及びイベント参加者の高齢化が最大の課題、森づくりを百年間続けるには4～5世代の継続が必要である。  
本年度から高校生等を対象とする山村宿泊体験会を始める。又、定款変更予定で年会費無料の高校生・大学生等対象の「若人会員」を新設。  
多くの人への活動周知のために広報誌を会員以外の希望者や学校図書館等に配布、ホームページの充実を図りSNSの活用もさらに充実させる。  
リピーターを増やすためにもイベント毎に振り返りを行い、可能なことから改革する。

## 活動収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 百年の森づくりの会  
 活動名 水を育む山への恩返し 荒川源流域での森づくりと広報活動

### 1.収入の部 536,982 円

項目	予算額(円)	積算・内訳等							
<b>a.助成金交付申請額</b>	<b>483,000</b>	※千円未満切り捨て							
<b>b.自己資金</b>	<b>53,982</b>								
	53,982	←自己資金のみ直接金額を入力する							
<b>c.活動実施による収入等</b>	<b>0</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
<b>d.その他</b>	<b>0</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

### 2.支出の部 536,982 円

項目	予算額(円)	積算・内訳等							
<b>a.会場費</b>	<b>6,900</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
埼玉会館施設利用料(第28回公開講座講演会場、13:00~17:00)	6,900	6,900	円	×	1	回	×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

b.通信運搬費		46,340	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
広報誌48号及びイベント案内チラシ 郵送料(100g以内)	35,000	140	円	×	250	部	×			
行事参加連絡葉書(値上げ前に購入)	11,340	63	円	×	180	枚	×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
c.旅費交通費		25,200	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
事務局駐車場代金(宝登山、地元打合せ)	2,000	500	円	×	4	回	×			
第28回公開講座講師交通費	20,000	20,000	円	×	1	回	×			
会議・打合せ 駐車場代金(市民活動サポートセンター地下他)	3,200	800	円	×	2	回	×		2	車
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
d.消耗品費		258,795	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
野外作業安全用品(別紙内訳書参照)	32,461	32,461	円	×	1	式	×			
草刈り、剪定、伐採 器具(別紙内訳書参照)	205,029	205,029	円	×	1	式	×			
第28回公開講座講師用お茶	220	110	円	×	2	本	×			
USBメモリ32GB(第28回公開講座録音用)	2,739	2,739	円	×	1	個	×			
イベント、お知らせチラシ印刷用紙(A4×500枚)	4,746	791	円	×	6	set	×			
事務用品(カーペン、フラットファイル、ケースホルダー、文具他)	4,000	4,000	円	×	1	式	×			
音声認識ソフト(講演内容をテキスト化する;Voice Code PRO等)	7,900	7,900	円	×	1	set	×			
宛名ラベル代	1,700	1,700	円	×	1	式	×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
e.備品費		0	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			
	0			×			×			

<b>f.委託費</b>	<b>151,800</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
広報誌48号印刷費(別紙見積のとおり)	151,800	506	円	×	300	部	×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
<b>g.謝金</b>	<b>0</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
<b>h.人件費</b>	<b>20,000</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
重作業参加者日当(和名倉、期間内払込のみ)	20,000	2,000	円	×	10	人・泊	×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
<b>i.その他</b>	<b>27,947</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
参加者ボランティア保険(和名倉、宝登山、三峰、期間内払込のみ、危険作業無し)	10,500	350	円	×	30	人	×		
グリーンボランティア保険登録更新料(動力使用作業対応傷害保険、宿泊型)	2,000	2,000	円	×	1	年	×		
グリーンボランティア保険活動回数分(和名倉、宝登山、三峰)	4,500	1,500	円	×	3	回	×		
グリーンボランティア保険人数分(期間内払込のみ)	3,447	383	円	×	9	人	×		
振込手数料(消耗品購入、印刷委託費、講師謝金、講演会会場費等)	3,000	3,000	円	×	1	式	×		
さいたま市市民活動サポートセンター印刷機使用料(イベントチラシ等6種)	3,000	3,000	円	×	1	式	×		
第28回公開講座資料印刷のためのコピー機使用料	1,500	30	円	×	50	枚	×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		